

平成 30 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 無所属


氏 名 山名 文世

項 目	調査研究費		支 出 内 容
費 目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
1	9 / 23	45,460	調査視察 旅費 (北海道苫小牧市) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計		45,460	備 考
合 計		45,460	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

平成30年8月21日

会派名 無所属
代表者名 山名文世様

氏名 山名文世 

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 山名文世議員
- 2 期間 平成30年9月23日(日)
- 3 場所 北海道苫小牧市
- 4 目的及び内容 苫小牧市美術博物館について
- 5 経費 45,460円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎						
行	9/23	八戸駅発 8:35 発	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考			
き	9/23	苫小牧駅着 12:59 着	早見表							
帰	9/23	苫小牧駅発 16:27 発								
り	9/23	八戸駅着 21:07 着								
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃		460.2k	7,880	15,760	八戸⇄苫小牧(往復割引) ※JR北海道運賃加算額含む	
				急 行 料 金			2	5,770	11,540	八戸⇄新函館北斗 230.6k
							2	1,190	2,380	新函館北斗⇄苫小牧 229.6k
				特別車両 料 金			2	3,780	7,560	八戸⇄新函館北斗 230.6k
							2	4,110	8,220	新函館北斗⇄苫小牧 229.6k
				航空運賃						
				東京モノレール						
				連絡バス						
				宿泊料						
小 計						45,460				
合 計 (小計×人数)						45,460	1名			

苫小牧市視察日程表案 平成30年9月23日(日)

無所属 山名文世議員

月 日	行 程 表	宿 泊
9月23日 (日)	<p>8:35発 八戸 - はやぶさ95 - 新函館北斗 - 特急スーパー北斗7 - 苫小牧</p> <p>10:05着/10:24発</p> <p>12:59着</p> <p>14:00~15:30 苫小牧市 視察「苫小牧市美術博物館について」 [会場]苫小牧市美術博物館 〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3-9-7 [電話]0144-35-2550</p> <p>16:27 発 苫小牧 - 特急スーパー北斗 18 - 新函館北斗 - はやぶさ 96 - 八戸</p> <p>19:08 着/19:37 発</p> <p>21:07 着</p>	

平成30年10月19日

会派名 無所属
代表者名 山名文世様

氏名 山名文世



調査視察等報告書

平成30年8月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会
政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告しま
す。

- 1 旅行者 山名文世議員
- 2 期間 平成30年9月23日(日)
- 3 場所 北海道苫小牧市
- 4 概要 別紙のとおり

2018年9月23日(日)

苫小牧市の概要

市制施行 昭和23年4月1日

人口 (平成30年8月末現在)

171,735人—男性 83,766人 女性 87,969人

世帯数 88,355人^{世帯}

面積 561.57 km²

「苫小牧市美術博物館」

事業説明者 主査 学芸員 武田 正哉

苫小牧市博物館の沿革

昭和35年 市立苫小牧図書館に郷土博物館設置

昭和45年 苫小牧市青少年センターを建設し博物展示部門・科学展示部門設置

昭和48年 苫小牧百年を記念して、郷土博物館建設方針決定

昭和58年 苫小牧市博物館建設基本計画決定

昭和60年 11月3日苫小牧市博物館開館

美術館設置までの流れ

平成20年3月 「苫小牧市第5次計画」策定

平成22年7月 市民フォーラム「市民と美術館」開催

平成22年11～12月 ワークショップ「苫小牧市美術館を考える」(3回実施)

平成23年1月 「苫小牧市美術館基本構想」策定

平成23年6～9月 ワークショップ「苫小牧市美術館を考える」(3回実施)

平成24年1月 「苫小牧市美術館基本計画」策定

平成24年6月 ワークショップ「苫小牧市美術館を考える」実施

平成24年8月～翌3月 増築改修工事のため閉館

平成25年4月 苫小牧市博物館 再開館

平成25年7月27日 苫小牧市美術博物館開館(美術館機能を併せ持つ複合施設としてリニューアル)

施設の概要

美術博物館及び埋蔵文化財調査センター

博物館部分 埋蔵文化財調査センター 昭和60年完成

美術館併設工事 平成25年3月完成

総建設事業費 19億7,121万円

建築面積 2,111.24 km² 鉄筋コンクリート造り 地上2階 地下1階

展示面積 常設展示室 973.1 m² (既存、博物館展示)

収蔵展示室 150.33 m² (既存、博物館展示)

私一人の視察に対し、快く対応していただいたのは「苫小牧市美術博物館」の主査・学芸員の武田正哉（たけだまさちか）氏である。

北海道苫小牧市に建設された博物館と美術館の複合施設は、2013年に前身の苫小牧博物館に美術館を併設してリニューアルオープンしたとのこと。

愛称は「あみゅー」で、アート（芸術）とミュージアム（博物館）を合わせた親しみやすいネーミングとなっている。

あらかじめ、議会事務局を通して、視察内容を通知した項目に沿ってレクチャーを頂いた。

1. 運営方針、事業内容（展示・体験等）

苫小牧市美術博物館協議会について、博物館法第20条 および苫小牧市美術博物館条例第13条に基づき設置しており、協議会の目的は、美術博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関となっているとのこと。

委員の委嘱と構成は、学校教育及び社会教育の関係者や、家庭教育の向上に資する活動を行う方並びに学識経験のある方の中から、教育委員会が委嘱した10名以内の委員で構成され、任期は2年。

苫小牧美術博物館における美術館の基本理念は、「学び喜びがあふれる文化の薫るまち」の実現をめざし、博物館との複合施設として美術館を設置したとのこと。

主に、市民が参加する美術館を目標に、文化芸術にふれあう新たなまちの広場としての役割を持たせ、美術をとおして多くの市民が集い交流できる、市民に開かれた美術館とすることを基本理念としている。

また、学校教育や生涯学習施設と連携を図り、子どもたちが参加し体験できるワークショップや創造的な教育普及プログラムを行い、子どもたちの感性を育む美術館とする。その上で、市民の多様化、高度化する文化芸術のニーズに応えるため、学習の機会を設けるほか、創作活動や発表の場を提供するなど、文化芸術活動の拠点としての美術館とすることなどが強調されていた。

主な業務内容

- 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- 美術博物館資料の調査及び研究に関すること。
- 美術博物館資料の解説書、目録、調査及び研究に係る報告書等の作成及び頒布に関すること。
- 美術博物館資料に係る講習会、研究会、観察会、鑑賞会等の開催に関すること。
- 展覧会、展示会の開催その他の芸術活動の普及のための利用に供すること。
- その他目的を達成するため必要な事業。

展示・体験等について

博物館と美術館の複合施設として、美術館が所有する美術品を統計的に常設展示するほか、他都市の美術館や地元企業が所有する美術品を借用した企画展を計画的に開催する。

具体的に

- ① 複合施設の特性を活かし、関連性を持たせた展示事業を進める。
- ② 常設展として、美術館所蔵作品展を定期的かつ統計的に開催する。
- ③ 特別展として、他都市美術館や地元企業と積極的に連携を進め、美術展を開催する。
- ④ 子どものための美術展や各種文化団体と連携した「市民美術展」などを開催する。
- ⑤ 美術館所蔵の美術品のデジタル化を進め、系統的に作品を整理し、公開に努める。

2. 入館者数の推移及び入館者数の増加策

美術博物館の入館者数の推移は、別紙の「入館者数 人」のグラフの通り、平成10年度をピークに乱高下を繰り返し、24年度を境に増加傾向が見られ、29年度は過去最大の入館者数の伸びを示している。

その背景には、複合施設としての一体的かつ効果的な管理運営体制を行うため、効率的な組織と運営体制を確保し、必要な専門職員を配置してきたこと。

また、市民が気軽に入館できる観覧料を設定し、団体観覧の対象人数を見直したこと。及び、展示室使用料の見直しや、企画や行事内容に対応できる開館時間の設定、美術館運営に必要な学芸員の配置、複合施設としての協議会の設置と、委員は公募を含め、美術に対応した人選を行うなどの対応が行われてきたとのレクチャーがあった。

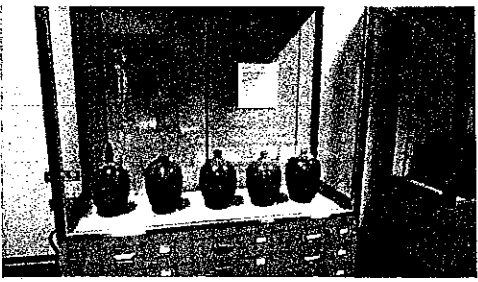
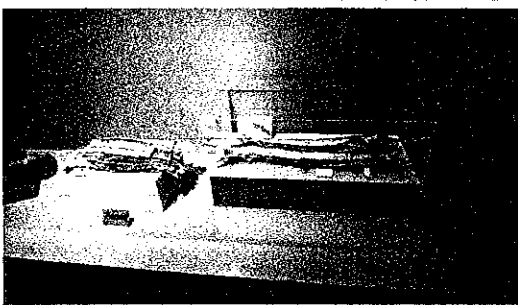
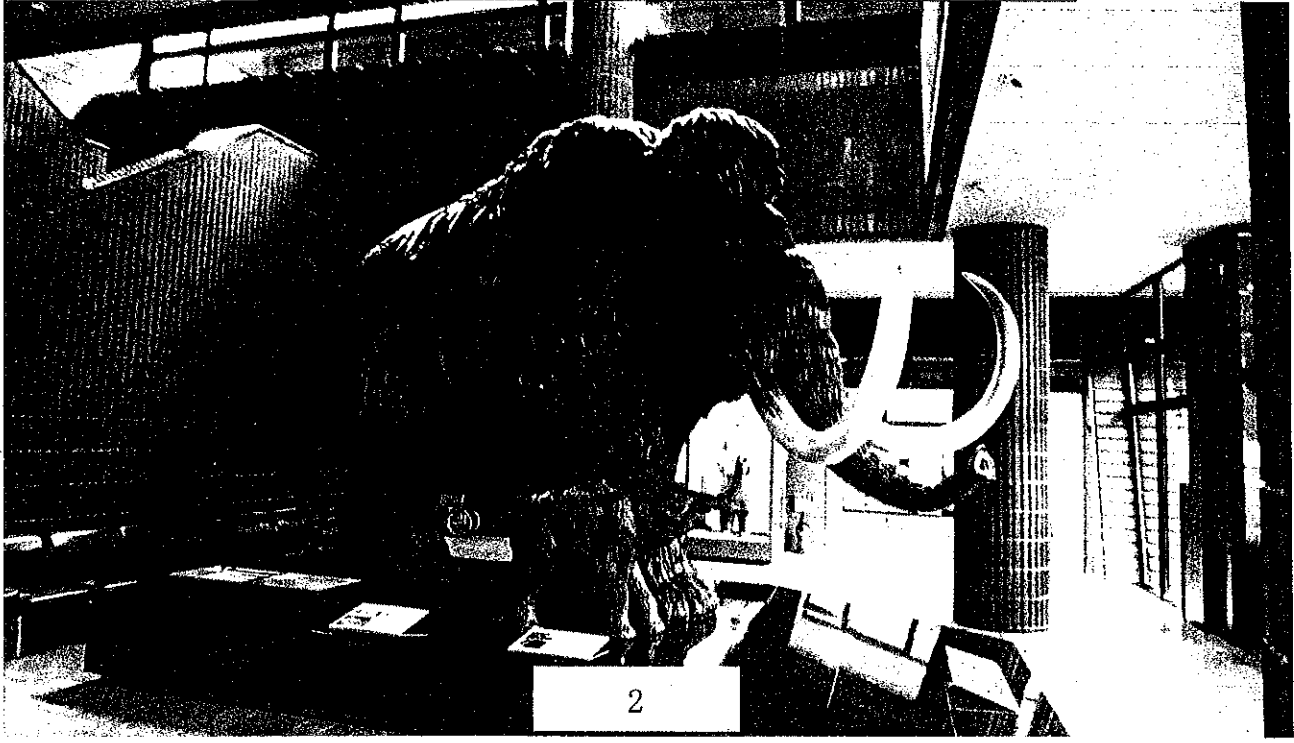
3. 資料の収集方法と収蔵スペースの確保

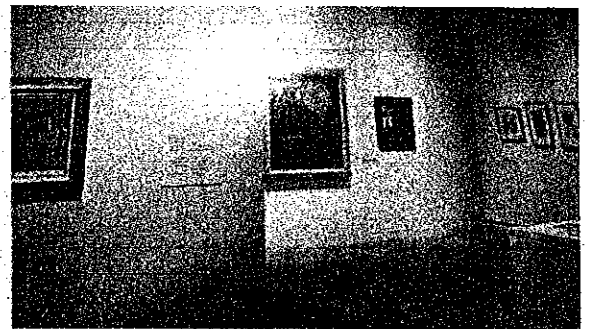
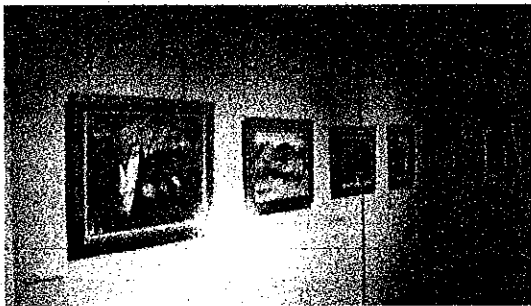
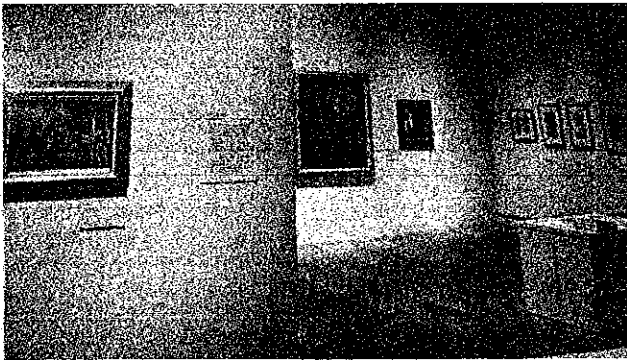
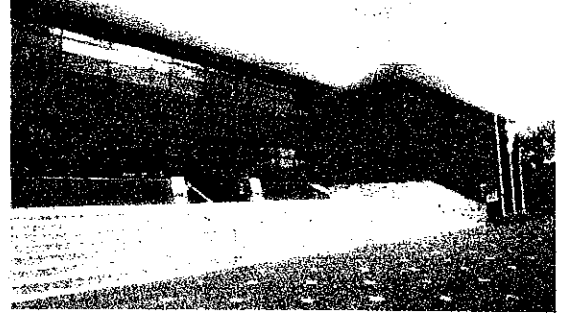
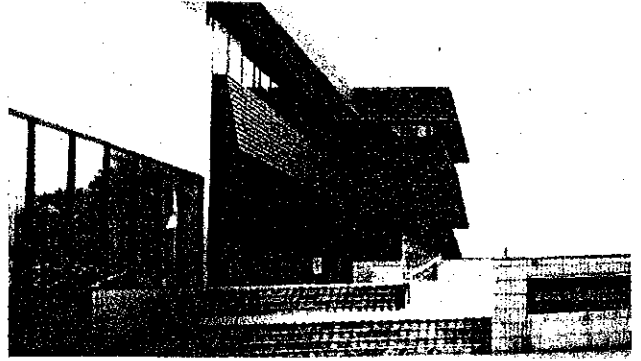
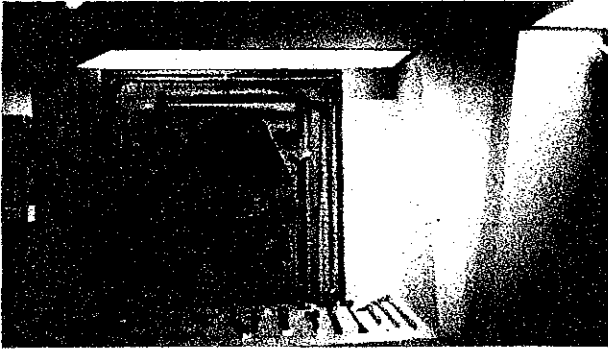
主として明治以後の北海道美術の流れから、各分野のすぐれた作品を系統的に収集・保存するとともに、国内外の近代以降の作品、特にガラス工芸、パキスタンを中心とするエコール・ド・パリの作品なども積極的に収集し、総合的な近代美術館を目指す事としている。

収蔵・保管環境の整備については、既存収蔵庫の他に新たな収蔵庫を設け、作品の保存環境を整備する。また、作品の良好な保管のため必要な空調環境を整備するとしており、収蔵スペースの確保策については、多くの自治体の共通の悩みとして感じられた。

苫小牧美術博物館における視察の所感として、2021年夏にオープンを目指す「八戸市新美術館」の運営、事業、展示・体験に加え、入館者数の増加策、及び資料の収集や収蔵スペースの確保など、参考にすべき点が多く有意義な視察であった。

エントランスホール 実物大に復元したマンモスの親子の展示





苫小牧市美術博物館

主査 学芸員 takeda masatika

武田正哉

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号
TEL. 0144-35-2550(代) FAX. 0144-34-0408
tm28836@city.tomakomai.hokkaido.jp

